



博多まちづくり推進協議会

HAKATA TOWN PLANNING PROMOTION COUNCIL

2024年度 事業報告書

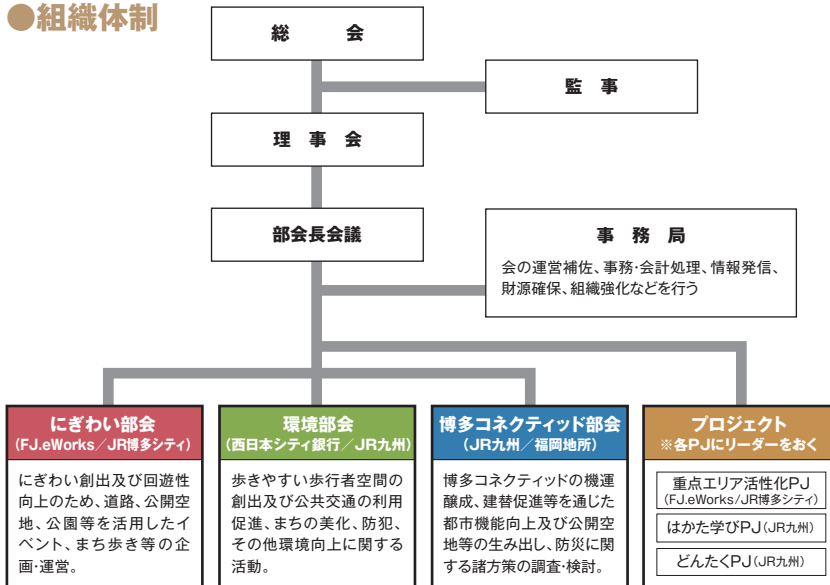
Annual Report 2024

2024年度(令和6年度)の活動

2024年度(令和6年度)は、「博多まちづくりガイドライン」に基づき、新たに「つながる」と位置づけた「アクションプラン(2023-2025)」の2年目で、博多の新しい将来像実現に向け、活動してまいりました。

はかた駅前“どんたく”ストリート、歩行者利便増進道路(ほこみち)制度を活用した「はかたイーストリート」、冬季イルミネーション事業「冬のファンタジー・はかた」など多くのお客さまが集まるイベントや、クリーンデイや防犯講習会、防災訓練の実施など安全・安心なまちの環境維持・向上など、行政・地域・事業者・会員が連携し、「歩いて楽しいまち」と「美しく安心なまち」の実現に向けた活動を行いました。

●組織体制



●活動エリア



博多駅を中心に東西約1.5km、南北約1kmのエリア

※活動内容によって対象エリアを検討

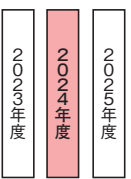
「博多まちづくりガイドライン」と協議会の活動

博多のまちでは、まちづくりの方向性や方針をまとめた「博多まちづくりガイドライン」をもとに、様々な関係者が将来像を共有しながら、その実現に向け、まちの魅力や価値を高めていく活動が進められています。

博多まちづくり推進協議会では、「博多まちづくりガイドライン」に描くまちの将来像を実現するため、概ね3年間で協議会が主体となつて重点的に取組む活動と、その活動を通じて達成したい目標を定めた「アクションプラン」を策定し、まちづくりを推進しています。



事業計画



●アクションプラン(2023-2025)

2022年度末の地下鉄七隈線延伸により、福岡市南西部と博多駅地区との時間を大幅に縮め、渡辺通地区や天神地区との回遊性が向上しました。また、九州全域や本州方面へのアクセスのハブである博多駅地区の拠点性が高まりました。

また、博多駅周辺エリアにおける更新期を迎えたビルの建替えを促進するプロジェクト「博多コネクティッド」についても、着実に建替えが進んでいます。

2023年度からの3カ年を、「博多駅地区」と「渡辺通地区」や「天神地区」がつながり、

**博多コネクティッドの促進によって
新たに生まれたにぎわいが**

“つながる”期間と位置づけました。

重要テーマ	アクション
I. にぎわい・回遊	通りの魅力を磨き上げ、にぎわいを駅からまち全体に拡げる
II. 交通	多様な移動手段が共存し、誰もが歩きやすいまちを目指す
III. 歴史・文化	数ある博多の歴史・文化・食の魅力を発掘し、発信を強化する
IV. 環境	環境に配慮した活動を拡大し、彩り豊かなまちをつくる
V. みどり・公園	みんなが使う、みんなで作る「都会のオアシス」を目指す
VI. 安全・安心	安心して歩けるまちを目指して、まち全体の連携を推進する
VII. 防災	行政、地域、まち協が協力し、三位一体となった取組みを進める

歩いて楽しいまちづくり

アクション

- I. 通りの魅力を磨き上げ、にぎわいを駅からまち全体に拡げる
- II. 多様な移動手段が共存し、誰もが歩きやすいまちを目指す
- III. 数ある博多の歴史・文化・食の魅力を発掘し、発信を強化する

特別協賛事業

●第14回はかた駅前“どんたく”ストリート(特別協賛事業)

5/3(金・祝)、5/4(土・祝)

博多駅地区のにぎわい創出と、福岡都心部全体の活性化を目的に、博多どんたく港まつりの主要行事として「はかた駅前通り」の約135mをステージとする「はかた駅前“どんたく”ストリート」を開催。

2日間とも晴天に恵まれ、両日合わせて2万4千人を超えるお客さまにご来場いただいた。インバウンドが回復したこともあり、国内外問わず多くの方に楽しんでいただいた。

今年は来場者も昨年より増加したが、出演希望団体も大きく増加したため、14回目にして初めて抽選にて参加団体を決定した。

出演団体：延べ34団体(5/3：12団体、5/4：22団体)

出演者数：約2,100名

来場者数：約24,800名(5/3…10,037名)
(5/4…14,754名)



●冬のファンタジー・はかた(特別協賛事業) 11/1(金)～1/5(日)

博多駅周辺地区の回遊性向上、防犯対策を目的に、はかた駅前通りや大博通り、筑紫口中央通りなどの街路樹にLEDストリングスを装飾してまちを彩る「冬のファンタジー・はかた」を開催した。

当協議会として歩道樹木などの公共空間を彩ることで、JR博多シティやキャナルシティ博多などの核となるイルミネーションをつなぎ、エリア全体でクリスマスシーズンの街並みを華やかに演出した。

なお、昨年度まで工事で装飾できなかったエリアも復活し、よりパワーアップした華やかさとなった。



にぎわい・回遊

●はかたイーストリート

10/31(木)～11/1(金) ※11/1は雨天のため中止

筑紫口中央通りの道路空間や公開空地の活用及びにぎわいの創出を目的とし、「はかたイーストリート」を開催。歩道への街灯スタンドや什器等の設置、キッチンカーや音楽・アートライブのステージにより、“いつもと違う筑紫口中央通り”を演出。また、2024年3月に竣工したコネクトスクエア博多の公開空地を活用することにより、今まで以上に面でのにぎわいの広がりをつくることできた。



●ハカタストリートバル 3/19(水)～3/21(金)

にぎわい創出と道路や公開空地等の活用方法の提案を目的とし、はかた駅前通りにて「ハカタストリートバル」を開催。飲食ブースやソファ席、ベンチ等を設置し、多くの方が楽しめる居心地のよい空間づくりを行った。今年度は環境演出に注力し、DJによるパフォーマンスやBGMの充実、Artist Cafe Fukuokaとの連携によるアート演出を行った。



●博多まち歩きマップ 外国語版制作

10月発行

博多のまちの魅力を外国人観光客にも知っていただき、まち歩きを楽しんでいただくため、「博多まち歩きマップ」の外国語版を制作。博多まち歩きマップの『御供所周辺コース』と『博多駅周辺コース』の2コースを、英語・韓国語・簡体字・繁体字の4言語で制作した。博多駅総合案内所や福岡市観光案内所など、外国人観光客が多い場所にて配布し、HPでも公開している。また、QRコード読み込みで閲覧できるサイト案内POPをホテルロビーなどに設置した。

発行部数：各言語7,500部



●博多まちづくりミートアップ

①10/18(金) ②2/13(木)

博多のまちづくりに参考になる様々な事業者をゲストに招き、「これからの博多のまちづくり」を考える『博多まちづくりミートアップ』。時代の変化に応じて新たな挑戦を行っている事業者に、各社の考え方や取組み、今後の展望等についてお話しいただき、博多のまちがアップグレードするためのヒントを得た。

<今年のテーマ>

①コーヒーマンたちの熱意がまちの魅力に！ コーヒーカルチャーから考える福岡のまち

ゲスト：MANLY COFFEE 須永 紀子様
豆香洞コーヒー 後藤 直紀様
BLUE BOTTLE COFFEE 黒川 連様

福岡がコーヒーのまちとして注目されるようになるまでの取組みや熱意をゲストにお聞きしながら、まちづくりや文化の醸成について会場一体となって考えることができた。

②地域愛が原動力！ アビスパ福岡が地元企業と創る福岡の未来

ゲスト：アビスパ福岡株式会社 佐川 諒様

社会課題の解決や地域貢献活動の新しい形を生み出しているアビスパ福岡の話をお聞き、まちづくりの関わり方のヒントを得た。

参加者数：①30名 ②20名



詳しくはこちら▶



●はかた大学

『博多で住む人・働く人・訪れる人』を対象として、文化やライフスタイルなどの分野で講座を開き、学びの場を通じた“つながり”を生み出すことを目的に「はかた大学」を毎月1回の頻度で開催。今年度は当協議会の会員企業を訪れ、活動を知っていただくことを意識した講座も開催した。

【カルチャー】「博多の地形から読み解くまち歩き」「吉塚リトルアジアマーケット」「福岡と博多はどげん違うと?」「大人の社会科見学、福太郎で舌鼓」「美術の知識がなくても楽しめる!? 対話型鑑賞」「久原家出汁の世界」「はじめてのラグビー」

【ライフスタイル】「アナタの知らないメディカルアロマの世界」「Starbucks Coffeeワークショップ」「つる子のお香遊び教室“オリジナル塗香作り”」「もうすぐクリスマス、家で楽しむワイン」

詳しくはこちら▶



吉塚リトルアジアマーケット講座



塗香作り講座



山口油屋福太郎 明太子工場見学講座



クリスマスワイン講座

会員企業との共催イベント

●A級グルメ大食覧会

5/9 (木) ~5/19 (日)

ザ・メッシュラン×ソワニエと共催で、JR博多シティ駅前広場にて、食都・福岡・博多からハイレベルな食文化を発信する目的でイベントを開催。グルメ雑誌が選んだ福岡の本格飲食店が一堂に会しシェフが腕を振るう、博多の食の魅力を詰め込んだハイクラスグルメフェスとなった。当協議会は共催イベントとして福岡で活躍されている料理研究家山際千津枝さんのトークショー「博多フードミーティング」を開催した。2020年からはコロナ禍により未開催であったが、5年ぶりの開催となった。



●はかた夏まつり2024

8/6 (火) ~8/22 (木)

JR博多駅前広場にて、はかた夏まつり実行委員会と共催で、夏場のにぎわい創出のために、はかた夏まつりを開催。今年は昨年より期間を延長し、17日間の開催となった。会場の暑さを和らげるために恒例の打ち水を実施、浴衣姿での打ち水は夏の涼の演出となった。会場内においては、フードやドリンク及びかき氷などを販売する屋台に加え、ヨーヨー釣りやスーパーボールすくいなど家族で楽しめる縁日屋台も設置。お客さまを巻き込んだ盆踊りやアーティストのライブ、プロアスリートによるトークイベントなどを開催し、博多の夏の夜を活気づけ、外国人旅行者を含む幅広い層の方々が楽しめるイベントとなった。



●につくん

~九州お肉の王国まつり2025~
2/21 (金) ~2/24 (月・振休)

九州観光機構と共催で、九州各地のブランド肉の出展を中心とした、ホンモノに気軽に触れることのできるお肉のイベントを博多駅前広場で開催した。「肉は九州の強い武器」ということを発信するイベントとして、多くの観客を呼び込んだ。当協議会は共催イベントとして福岡で活躍しているアーティストの銀ソーダさんをお招きし、音楽とアートの融合をテーマにしたライブペイントを開催した。



交通

●フリンジパーキング 通年

当協議会は福岡市と協業してフリンジパーキングを実施。提携駐車場（住吉パーキング、グランドパーキング）の駐車料金を入庫後最大12時間まで最大500円とし、また、利用特典として乗車人数分の西鉄バス片道乗車券もしくは、福岡市営地下鉄片道乗車券を進呈。毎月の利用台数は増加傾向にあり、自家用車による都心部流入抑制に貢献した。

※フリンジパーキングとは、都心部へのマイカー乗り入れを減らすため、都心周辺部に車を駐車し、バスや地下鉄等で都心部に行く取組み。

2024年度利用台数：8,923台

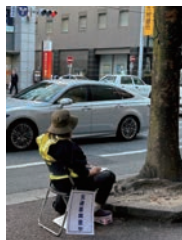
※2025年2月末時点



詳細はこちら

●交通量調査 10/17 (木)、10/26 (土)

博多駅周辺の歩行者、自転車、自動車類の交通実態を把握し、経年比較を行う交通量調査を実施。歩行者通行量は、訪日外国人の増加等を背景として、昨年度と比較し5%程度増加。コロナ禍前の通行量を超えて過去最多の通行量となった。一方で、自転車交通量は10%程度減少。はかた駅前通りの歩行者通行量は13年で約1.8倍に増加した。



●押し自転車の呼びかけ 毎月第3木曜日

博多警察署、福岡市と連携し、自転車利用者に対して「押し自転車」への協力を呼びかける活動を実施。住吉通りKITTE博多前にて通行量が最も多い8時30分~9時まで実施。福岡市交通指導員の方に隔日で呼びかけを実施していただいていることもあり、ほぼ100%の方に「押し自転車」にご協力いただき、歩きやすい歩行者空間の実現に取組んだ。



歴史・文化

●アート灯明(灯明ウォッチング) 10/31(木)

10月19日開催予定であった灯明ウォッチングの一環で、アート灯明を制作。灯明ウォッチングは天候不良により中止となったため、10月31日に実施した「はかたイーストリート」の会場内にてアート灯明を設置。廃棄物とアーティストのネットワークを活用してアート作品や企画提供を行っているアクタプラスと連携し、5名のアーティストにより福岡の廃棄物を再利用した計30個のアート灯明を制作。イーストリート実施会場の1つであるコネクトスクエア博多の公開空地に設置した。



●博多千年門十周年記念イベント

3/16(日)

博多の繁栄を願う地域住民や地元企業と一体となって、博多旧市街のウェルカムゲートとして、承天寺通りに「博多千年門」を建設し、完成から十周年を迎えた。これを記念してイベントを博多区と連携して開催し、博多千年門・承天寺通りのにぎわいの創出を行った。改めて博多千年門の建設の意義を再確認するとともに、愛着を深めることができ、地域振興につながった1日となった。



●HAKATA ART WALK MAP(アートマップ)

9月発行

福岡市が進める「Fukuoka Art Next (FaN)」事業に共感し、当協議会として「FaNプロジェクトパートナー」に登録。その一環として、博多のまちに点在するアートや文化を紹介するアートマップを制作した。最先端の現代アートに触れられる『現代アートコース』と、街に残る美しい建築や伝統的な名所を巡る『伝統・建築コース』の2コースを紹介。アートマップ掲載場所にて配布し、当協議会HPにバナーリンクを設置し、WEBでも閲覧可能。

発行部数：10,000部



●承天寺通り投光器設置 通期

博多駅から博多旧市街エリアのウェルカムゲートである千年門までの承天寺通りにおいて、昨年度より社会実験として投光器26台を設置。社会実験を経て、11月より常設として設置されることとなった。暗くて裏通りの印象であった承天寺通りの木々が明るく照らされ、通りのイメージがガラリと変わり、防犯という点からも歩きやすい通りに生まれ変わった。



わくわく博多 9/29(日)～11/4(月・振休)

数ある博多の歴史・文化・食の魅力を発掘し、博多に訪れる方々だけでなく、周辺地域で暮らし、働く方々にも、改めて博多の魅力を感じられる機会を創出するために複数のイベントを博多区と連携して実施。

・オープニングイベント わくわくフェス in 住吉神社 9/29(日)

福岡の子どもたちが、博多の歴史や伝統を学ぶ・食べる・体験する特別な1日。博多にまつわるワークショップや昔あそびゾーン等、住吉神社内に多数の遊び場・学び場を用意。さらに、博多のカフェや古本屋さんの出店、博多にある専門学校21世紀アカデメイアの学生による物販や企画、能楽殿でのステージなども行い、大人と子どもが一緒に楽しめる1日となった。

参加人数：約800名



・博多ひもときラリー 9/29(日)～11/4(月・振休)

博多にまつわるクイズに答えながら街を巡り、博多の伝統や文化などの魅力をひもとくクイズラリー。全5カ所に設置したクイズに全問正解した方にオリジナルの手ぬぐいをプレゼントした。

参加人数：4,220名
(景品獲得者数：930名)



・はしごはかた 10/3(木)～10/12(土) ※6日(日)を除く

昨年より参加店舗数と日数を拡大し、櫛田神社表参道、冷泉公園、呉服町駅、祇園町駅周辺の飲食店30店舗で利用できるお得な「はしごチケット」を販売。チケット購入者には東雲堂とコラボしたオリジナルにわか面をプレゼントした。博多の食文化をより楽しんでもらう機会を創出した。

チケット販売実績：443セット



美しく安心なまちづくり

アクション

- Ⅳ. 環境に配慮した活動を拡大し、彩り豊かなまちをつくる
- Ⅴ. みんなが使う、みんなで創る「都会のオアシス」を目指す
- Ⅵ. 安心して歩けるまちを目指して、まち全体の連携を推進する
- Ⅶ. 行政、地域、まち協が協力し、三位一体となった取組みを進める

環境

●クリーンデー 毎月第3木曜日

毎月第3木曜日の朝の時間を活用し、博多駅周辺の清掃活動を行った。今年度より参加人数も増加し、毎回約400名が参加し、まちづくりの基本である「まちの美化」に取り組んだ。4月と11月には「スペシャルクリーンデー」と題し、通常よりも清掃エリアと時間を拡大し、落書き消し活動も実施した。なお11月はフォスポットを設置し、多くの会員が利用した。

(フォスポットパネル作成: 21世紀アカデメイアの学生)

年間参加者数: 4,895名 年間ゴミ回収量: 628kg



みどり・公園

●はかた駅前通り・筑紫口植栽帯管理事業 通期

はかた駅前通り及び、博多駅筑紫口近辺にてフラワーポット179基の管理を行い、植栽による通りの美しさを演出。今年度は、フラワーポットの花の苗をボリュームアップし、各所に豊かな花と緑を増やすことで、より一層魅力的なまちづくりに努めた。



安全・安心

●防犯講習会 9/19 (木)

防犯意識向上や、犯罪被害に遭わないために正しい防犯知識を身につけてもらうべく、博多警察署と連携し、博多エリアにおける犯罪状況についての講習や、護身術の体験を実施。防犯に対する意識を高めるとともに、地域全体で協力して安全なまちづくりを推進する重要性を訴えた。

参加者数: 32名



●事業所対抗ウォーキング大会in博多まち協カップ 11/19 (火) ~12/2 (月)

福岡市と連携した事業所対抗ウォーキング大会を実施し、入賞チームをクリスマスパーティにて表彰した。各事業所の平均歩数を競い合う形式を採用し、楽しみながら歩く機会を創出。参加者は日常生活にウォーキングを取り入れることで、自然と健康を意識するようになり、会員の健康促進に大きく寄与した。

参加者数: 50チーム、309名



防災

●防災訓練 2/20 (木)

福岡県西方沖地震から20年経過したことを受けて、博多駅筑紫口にあるコネクトスクエア博多にて防災訓練を実施した。一時滞在施設を活用した避難所開設・運営の流れを事業者協力の下進め、参加した会員企業からは「自社ビルでの運営について、持ち帰り不足部分の確認を行いたい」等のコメントを頂いた。

有事の際に多くの来街者が混乱しないよう、エリア内の各ビルにて対応するための意識付けを行うことができた。

参加者数: 41名



環境部会ワーキンググループ

●ワーキンググループの取組み 通年

本年度より、交通WG、分煙WG、清掃WGを立上げ。各WGでフィールドワークによる課題整理、実態把握や他都市の事例研究などにより知見を深め、環境に資する取組みを実施した他、来年度以降における新たな施策の検討を行った。

参加者数:35名



博多コネクティッド

●ワーキンググループ 毎月第3木曜日

博多コネクティッド部会では、博多駅周辺のにぎわいと活力をさらに周辺につなげていくプロジェクト「博多コネクティッド制度」に呼応し、ハード・ソフト両面での検討を進めながら、建替え等の推進や都市機能の向上に取り組んでいる。毎月のワーキングでは部会メンバーから寄せられたテーマに沿って、有識者からのお話や勉強会を行いながら機運醸成につなげた。今年度は公開空地をどう作るか、どう使うかをテーマにまちのにぎわい、回遊につながるような制度の説明や施策事例をまとめた「公開空地等整備・利活用ガイドライン」を作成した。

各回平均:リアル参加40名 オンライン参加10名



開催月	内 容	講 師
4月	活動ビジョンの説明	事務局
5月	コワーキング施設	九州旅客鉄道(株)
6月	エシカル	(株)船場
7月	脱炭素インパクトファイナンス	(株)西日本シティ銀行
8月	天神ビッグバンを活用した事例紹介	西日本鉄道(株)
9月	パブリックスペースを核にしたまちづくり	大成建設(株)
10月	公開空地等整備・利活用ガイドライン	事務局
11月	先進事例視察(広島市、福山市、松山市)	各開発事業者、エリマネ団体
12月	スマートシティ	清水建設(株)
1月	URの全国取組事例	都市再生機構
2月	防災訓練	福岡地所(株)
3月	年間総括・次年度取組	事務局

●先進事例視察 11/7(木)~11/8(金)

有志の部会員と中四国エリアの先進事例視察を行った。広島市・福山市・松山市など各エリアで開発を行っている事業者やエリマネ団体に、活動内容や行政との関わり方など博多での参考となる事例を多く紹介いただいた。また夜には懇親会を行い、20を超える企業との交流を持つことができた。

参加者数:40名



●祇園地下通路ワークショップ 12月~2月

博多駅周辺の回遊性向上を目的とし、博多駅と祇園駅をつなぐ公共地下通路の将来像WSを行った。計3回博多コネクティッド部会員有志にて、様々な議論を交わし、最終的な理想パースを仕上げた。

現状の課題や他都市の地下通路活用事例を把握し、周辺企業で働く人や来街者のウェルビーイングにつながる仕掛けづくりを検討した。

参加者数:各回平均30名



●公開空地等整備・活用ガイドライン

福岡都心での建替え制度により、今後生まれてくる公開空地をうまく活用するため、“公開空地をどう使うか”、ビルの設計の時点で使いやすい公開空地を意識していただくためのガイドラインを作成した。福岡市が定める公開空地等活用計画の登録制度についての説明や、公開空地を整備・活用する上での様々な留意点、イベントの種類ごとの活用イメージ等を記載した。マニュアルは各部会にて紹介し、様々な場所での賑わいが生まれるように情報発信を行った。



協議会活動の充実

●エリアマネジメント戦略会議（シンポジウム・ワークショップ） 9/2（月）

日本大学理工学部建築学科 准教授/一般社団法人ソトノバ共同代表理事・泉山聖威氏を講師に迎え、「これからのエリマネ事業と組織のカたち」についてお話しいただいた。近年、全国各地で進むウォークアブルシティに関して、具体的な取り組み・制度についての紹介や、他都市のエリアマネジメントの動向から、博多駅周辺でのエリアマネジメントの可能性について、参加者で共通意識を持つことができた。講演後は、当協議会事務局長、にぎわい部会長、環境部会長を交えたオープンセッションを行い、今後の組織体制についての具体的なヒントを得る機会となった。その後有志を募って、まちの課題解決のためのリーディングプロジェクトを考えるワークショップを行い、優先的に実施すべきプロジェクトについて各グループで議論を深めた。

15:00～16:00…シンポジウム 参加者数：107名

16:10～18:00…ワークショップ 参加者数：38名



●忘年クリスマスパーティ 12/16（月）

会員同士の相互交流や博多駅周辺地区におけるネットワークの構築を目的として、ANAクラウンプラザホテル福岡にて開催。歴代最多の出席者となり、会員企業や博多区役所などまちづくり関係者同士の横のつながりを強めることができた。パーティ内では商品抽選会やクイズ大会など様々なイベントを折込み、好評を得た。

参加者数：151名（事務局スタッフ含む）



●シンガポール視察 1/8（水）～1/11（土）

博多駅周辺地区におけるエリアマネジメント活動の支援業務委託をしている一般社団法人ソトノバ同行の下、シンガポールへの視察を行った。本視察ではシンガポールの中心業務地区であるセントラルリージョンを中心に、特色のあるパブリックスペースやURA（都市再開発庁）を訪問し、博多駅周辺のまちづくりの参考になる情報を収集した。当協議会では初めての海外視察となった。

参加者数：19名



●地域イベントとの連携

- 6月20日 ラブアース・クリーンアップ2024
(福岡市環境局ごみ減量推進課)
- 11月1日～ クリスマスアドベント
- 12月25日 (福岡クリスマスマーケット実行委員会)
- 1月24日 招福訪問豆まき(東長寺節分祭世話人会)
- 1月26日 令和6年度「福岡検定」
(「福岡検定」実行委員会)
- 2月2日 節分祭(東長寺、住吉神社)
- 通年 福岡県警察音楽隊
「安全・安心コンサートin博多」



●視察受入(他都市との情報交換等)

- ・富士市議会無会派議員団
- ・NTT西日本 東北ブロック統括本部
- ・読谷村議会
- ・茨城県社会福祉法人経営青年会
- ・東京不動産
- ・AMU35(全国エリアマネジメントネットワーク)
- ・忠清南道持続可能発展協議会
- ・岡山大学
- ・北九州市立大学(受入&出張講義)
- ・万代シティ商店街振興組合
- ・新潟県議会 未来にいがた
- ・大阪地下街株式会社
- ・大阪商工会議所
- ・愛知県議会建設委員会(自民党)
- ・兵庫県豊岡市議会 豊義会
- ・JR東日本 新宿開発プロジェクト
- ・日本大学
- ・鯖江市議会

●他組織への参画(委員就任、会議出席など)

- ・全国エリアマネジメントネットワーク
- ・天神博多商業連携会議
- ・博多警察署協議会
- ・博多千年門・承天寺通り建設記念誌制作実行委員会
- ・博多千年門・承天寺通り振興会
- ・博多の魅力発信会議
- ・博多ライトアップウォーク実行委員会
- ・福岡市バリアフリー推進協議会
- ・福岡花しるべ実行委員会
- ・福岡花しるべ選定委員会
- ・福岡ミュージックマンス会議
- ・福岡市都市交通協議会
- ・福岡市地域公共交通計画協議会
- ・福岡検定実行委員会
- ・福岡市屋外広告物審議会
- ・住吉神社地区の景観まちづくりを考える会
- ・ユニバーサル都市・福岡推進協議会

情報発信・自主財源の確保

情報発信

●公式HPへの情報掲載、SNSの活用

協議会の公式ホームページ(HP)、SNS(Instagram・Facebook)を活用し、協議会の活動周知や各部会におけるイベントの告知、クリーンデイ開催案内・報告、博多のまちに関する内容などタイムリーな情報を発信した。



●英語版まち歩きコースガイド連携

在住&来福外国人にリーチできる媒体として認知が高く、インバウンドの閲覧者が多い「Fukuoka Now」と連携し、博多駅を起点とした旧市街まち歩きコースを英語版で紹介した。



●公式HPのリニューアル

協議会の公式ホームページ(HP)のページ内レイアウト、各種案内バナー等の見直しを行った。また、HP掲載内容のアップデートの一部作業を内製化することで、これまでよりもタイムリーな情報発信が可能になった。



詳細は
こちら



●クリーンデイパネル

環境部会で立ち上げた清掃WGの取組みとして、秋のスペシャルクリーンデイ参加者向けのフォトパネルを制作した。会員企業の清掃活動参加写真としても活用いただき、クリーンデイの活性化及び情報発信に取組んだ。



自主財源

●まちづくり支援自動販売機

売上金の一部を協議会の活動費として寄付していただく自動販売機の設置企業を募集。
(2025年3月時点 7台設置)



●エリアマネジメント(街路灯バナー) 広告事業

はかた駅前通り、住吉通り、大博通り、筑紫通り、空港通りの街路灯バナー広告を募集した。はかた駅前通りでは外国人に人気の「キャナルシティ博多」などへ道案内する5カ国語案内サインを掲出した(日本語・英語・韓国語・中国語・タイ語)。また、寺社エリアへの観光導線強化を目的に、空港通りへ「博多旧市街」案内サインを掲出した。その他に「押し自転車」「フリンジパーキング」など行政と連携したまちづくりに関する内容も掲出した。その収入の一部は協議会の活動費にあてている。

(昨年度実績:キャナルシティ博多、株式会社西日本シティ銀行、アビスパ福岡株式会社)



●キッチンカー

福岡市が推進する「Fitness Cityプロジェクト」と連携した施策。公園の新たな利活用の検討を進める社会実験の一環として、博多駅周辺の公園においてキッチンカーを出店した。キッチンカーの売り上げの一部をまちづくり協力金として収受し、公園の美化活動等に努めている。2024年度は3つの公園で展開し、外で過ごしやすい季節には多くの周辺ワーカーや学生が利用し、公園のにぎわいづくりに寄与した。



●公開空地活用事業

公開空地等活用計画に沿って、登録を行った公開空地のイベント売り上げの一部をまちづくり協力金として収受。登録している7カ所ではイベントでの活用、シェアサイクルポート、低層部テナントのテラス営業など様々な公共性のある活用を行った。



その他の活動実績

●定例会議の実施

- 5月13日 2024年度通常総会
- 7月23日 第1回理事会
- 10月4日 第2回理事会
- 12月16日 第3回理事会
- 3月12日 第4回理事会



●事務局事例視察

- 6月26日 秋葉原タウンマネジメント株式会社(於:東京)
- 6月27日 一般社団法人竹芝エリアマネジメント(於:東京)
- 11月21日 那覇市国際通り商店街振興組合連合会(於:沖縄)
- 11月22日 デポアイランド(於:沖縄)



○博多まちづくり推進協議会会員一覧

【正会員】

(株)朝日新聞社、(株)朝日ビルディング 九州支社、(株)アサヒファシリティズ 九州支店、(株)伊藤園、NTTアーバンバリ
ューサポート(株)、エヌ・ティ・ティ都市開発(株) 九州支店、(株)エフ・ジェイエンターテインメントワークス、(株)大林組 九
州支店、鹿島建設(株) 九州支店、堅粕校区自治協議会、紙与産業(株)、九州勧業(株)、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、
(株)九電工、麒麟ビール(株)、グランド ハイアット 福岡、(株)神戸製鋼所 九州支店、西部ガス(株)、(株)サエキジャパン、
(株)サニクリーン九州、JR九州アセットマネジメント(株)、JR九州サービスサポート(株)、JR九州ファーストフーズ(株)、
JR九州フードサービス(株)、JR九州保険コンサルティング(株)、JR九州ホテルズアンドリゾーツ(株)、JR九州リテール
(株)、(株)JR博多シティ、JPビルマネジメント(株)、シービーアールイー(株) 福岡支店、住友商事九州(株)、住吉自治協
議会、筑前國一之宮 住吉神社、大成建設(株) 九州支店、大日本印刷(株) 情報イノベーション事業部 西日本CXセンター、
(株)竹中工務店 九州支店、中央日本土地建物(株)、(株)TVQ九州放送、(有)デュークスホテル、(株)テレビ西日本、東京
建物(株) 九州支店、遠山偕成ホールディングス(株)、TOPPAN(株) 九州事業部、(株)西日本シティ銀行、西日本鉄道
(株)、西日本電信電話(株) 九州支店、西日本旅客鉄道(株) 山陽新幹線統括本部 福岡支社、日本たばこ産業(株) 福岡支
社、日本郵政不動産(株)、博多駅南西街区まちづくり協議会、博多校区御供所自治協議会、博多校区冷泉自治協議会、(株)
博多ステーションビル、博多バスターミナル(株)、(株)博多福住、ハニービル開発(株)、(株)阪急阪神百貨店 博多阪急、東
住吉校区自治協議会、(株)ひよ子、(株)ファビリス、深見興産(株)、(株)福岡銀行、福岡地所(株)、福岡商工会議所、(株)福
岡リアルティ、(株)ふくや、(株)福山コンサルタント、(株)フジタ 九州支店、(株)ホテル日航福岡、(株)ホライズン・ホテルズ
博多ホテル事業所 ANAクラウンプラザホテル福岡、(株)丸井 博多マルイ、三井不動産(株) 九州支店、(株)明月堂、(株)
八百治、安田不動産(株)、(株)山口油屋福太郎

【一般会員】

アクティオ(株) 福岡営業所、(株)朝日印刷 福岡支店、朝日生命保険(相) 福岡支社、アサヒビール(株)、(学)麻生塾 麻生公務員専門学校 福岡校、(株)アッ
トマーク・ラーニング、アビスパ福岡(株)、RKB毎日放送(株)、安藤造園土木(株)、(株)石村萬盛堂、(株)伊予銀行 福岡支店、(株)ウェルビー、(有)内田エス
テート、(株)エイジエック 福岡オフィス、SMBコンシューマーファイナンス(株)、(株)エフエム福岡、(株)エフ・ジェイ ホテルズ、(株)オー・エイチ・アイ、
(株)岡部マイカ工業所、(株)オカムラ、オリエンタルホテル福岡 博多ステーション、(株)鹿児島銀行 福岡支店、上内電気(株)、九州朝日放送(株)、(一社)
九州観光機構、(株)九州DTS、(株)九州博報堂、協同エンジニアリング(株) 福岡支店、(株)近鉄・都ホテルズ 都ホテル博多、(株)久原本家グループ本社、
(株)久米設計 九州支社、(株)グリーンディスプレイ 福岡支店、KDDI(株) 九州総支社、コクヨマーケティング(株)、コーユーレンティア(株) 九州支店、
五洋建設(株) 九州支店、西京ホンダ販売(株)、(株)サニックス、ザ ロイヤルパークホテル 福岡、(株)サンケイディライト、(株)サン・ライフ、JR九州エー
ジェンシー(株)、JR九州コンサルタンツ(株)、JR九州商事(株)、JR九州セコム(株)、JR九州ビルマネジメント(株)、JR九州レンタカー&パーキング
(株)、(株)ジェイアールサービスネット福岡、(株)ジェイアール西日本ビルトピープラス、JR西日本不動産開発(株) 福岡支社、(株)システムソフト、
七洋物産(株)、(株)シティビル、清水建設(株) 九州支店、住友生命保険(相)、成和商事(株)、セコム(株) 博多統轄支社、(株)船場、損害保険ジャパン
(株)、(株)大広九州、(株)ダイスプロジェクト、太陽生命保険(株)、(株)丹靑社 九州支店、チャリチャリ(株)、(株)ティーケーピー、東急建設(株) 九州支店、
(株)東急コミュニティー 九州・沖縄事業部、TOTO(株) 九州支社、長崎船舶装備(株)、(株)二鶴堂、(株)日建設計(九州オフィス)、(株)西鉄ホテルズ、
(株)西日本新聞社、(学)21世紀アカデミア、日本生命保険(相)、(株)日本旅行 九州法人営業部、ネオス(株)、(株)乃村工藝社 九州支店、博多駅商店
連合会、(株)博多グリーンホテル、(株)博報堂プロダクツ 九州支社、(株)早川不動産、日之出水道機器(株) 九州営業所、(株)日比谷花壇、(公財)福岡
観光コンベンションビューロー、NPO法人 福岡建築ファウンデーション、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)、(株)復建エンジニアリング
福岡支社、(株)プレジデントハカタ、(株)ベルシステム24 業務統括本部 業務支援部 西日本総合業務グループ、前田建設工業(株) 九州支店、マーシュ
ジャパン(株)、丸紅(株) 九州支社、三井ガーデンホテル福岡祇園、(株)未来図建設、(株)Mellow、(株)森硝子店、(株)八百治博多ホテル、(株)山下設計
九州支社、山田コンサルティンググループ(株)、UCCコーヒープロフェッショナル(株)、LINEヤフーコミュニケーションズ(株)、ルートインジャパン(株)、
Local Knowledge Platform(同)、YSボール(株) 九州支店

【特別会員】

九州大学、国土交通省九州運輸局、国土交通省九州地方整備局、(独)都市再生機構 九州支社、(株)日本政策投資銀行 九州支店、(公財)福岡アジア都市
研究所、福岡県、福岡県警察本部、福岡市

【正会員 77、一般会員 105、特別会員 9、賛助会員 7 計198会員】

2025年4月1日現在(五十音順)